



DYFLEX

建築・土木用 軟質形中粘度形注入エポキシ樹脂

・総プロ(土木補修用エポキシ樹脂注入材)2種適合品 ・NEXCO(ひび割れ注入材)2種適合品

EverBond® EP-302

エバーボンド EP-302 : JAIA-008752 F☆☆☆☆ / JAIA-503735 4VOC 基準適合

【☆主剤3kg+硬化剤2kg=5kgセット】

注入補修用・充填接着用軟質形 中粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-302

エバーボンド EP-302 は、軟質形中粘度タイプの注入用エポキシ樹脂です。挙動するひび割れに自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SK グラウトプラグ A 工法) でエバーボンド EP-301 (軟質形低粘度タイプ) を先行注入した後、ひび割れ幅が 0.3mm 以上の場合グラウトプラグ A の圧力タンク内の樹脂がなくなった際に追加注入する軟質形中粘度形エポキシ樹脂です。また、モルタルやタイル浮き部の注入材として追従性及び接着用途としても使用できます。



建築構造物 改修 外壁塗装面



土木構造物 改修 トンネル内壁

エバーボンド EP-302 の特長

- 混合性・注入性に優れ、作業性が良好です。
- クラックの動きに追従できる柔軟性と強力な接着性により構造物を一体化します。
- 硬化時や経時による収縮がほとんどない為、充填後の肌分かれなどを起こしません。
- ひび割れや外壁の浮き部の隙間に注入してもダレを起こしません。

エバーボンド EP-302 の用途

- コンクリートの乾燥収縮により、ひび割れが大きくなるとされる際の注入・充填接着
- 挙動するコンクリート構造物のひび割れの隙間やモルタル等の浮き部の注入・充填接着

建築・土木用 軟質形中粘度形注入エポキシ樹脂

・総プロ（土木補修用エポキシ樹脂注入材）2種 ・NEXCO（ひび割れ注入材）2種適合品

性状

エパーボンド EP-302		
項目	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	乳白色液状（揺変状）	褐色液状（揺変状）
混合比	主剤：硬化剤＝3：2（重量比）	
混合比重	1.10 ± 0.1g/cm ³	
可使時間 (300g)	5℃	約 170 分
	10℃	約 85 分
	15℃	約 50 分
	20℃	約 35 分
	25℃	約 23 分
	30℃	約 18 分

※可使時間については、測定値で規格値ではありません。

※一度に混合する量は、可使時間内に使用できる範囲として下さい。

物性データ 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(建設省総合技術開発プロジェクト) 注入材および充填材の品質規格(土木補修用エポキシ樹脂注入材)2種に基づく試験

「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(総プロ) 2種		エパーボンド EP-302	
試験項目	試験結果	規格値	
粘度(チキントロピック係数)	4	4 ± 1	
可使時間(分)	63	30 以上	
硬化時間(時間)	15	16 以内	
硬化収縮(%)	0.04	0.1 以下	
伸び率(%)	94	50 以上	
モルタル付着強さ(乾燥面)(kgf/cm ²)	100	60 以上	
付着耐久性保持率(%)	95	60 以上	

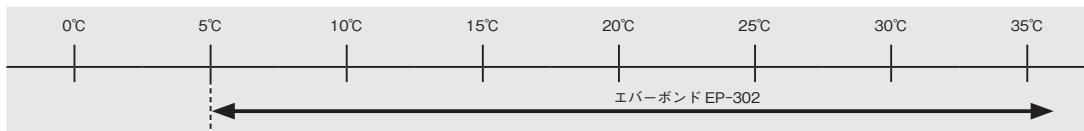
物性データ 「構造物施工管理要領」東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株) 表3-4-1 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格2種に基づく試験

NEXCO「構造物施工管理要領」ひび割れ注入材(2種)			エパーボンド EP-302	
試験項目	単位	試験結果	規格値	
未硬化の注入材	粘度(チキントロピック係数)	3	4 ± 1	
	可使時間	32 min	30 以上	
	収縮率	1.4 %	3.0 以下	
硬化した注入材	伸び	116 %	50 以上	
	モルタル付着強さ	乾燥面	11 N/mm ²	6 以上
		湿潤面	8 N/mm ²	3 以上
	付着力耐久性保持率	82 %	60 以上	

梱包容量

5kgセット(主剤:3kg、硬化剤:2kg) / ケース

材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

2023年6月版

(23.6月現在) 23.06.1.000 SJ